

犬の鳴き声と近隣の方との関係

ワンちゃんがほえると、飼い主様にとってストレスとなるだけではありません。日中や夜間の大きな鳴き声は、ご近所迷惑になることがあります。

無駄ぼえは、飼い主様が直面するもめ事の最大の原因の1つであり、次のような状況を招くことがあります。

- 隣人との関係がぎくしゃくする
- 賃貸住宅からの退去を迫られる恐れがある
- 地方自治体から騒音防止の通知を受ける
- 該当地域の騒音防止法に基づき起訴される

もしお客様がこれらの状況に直面されている場合には、解決策があります。バークコントロールシステムを使用すると、迅速かつ効率的に、そして何よりも安全に、ワンちゃんが無駄ぼえを防止できます。

ワンちゃんがほえるのをコントロールするには、まずほえる理由を理解します。騒音だとはいえ、ほえること自体は全く正常な行為です。飼い主様にとって重要なのは、ワンちゃんの鳴き声が必要のためか、不安によるものかなどを見極め、正常な範囲に収まっているかどうかを確認することです。ワンちゃんが不安感を持っていると判断した場合は、それに対処してからバークコントロールシステムを導入する必要があります。

バークコントロール製品にはさまざまな種類があり、飼い主様やワンちゃん、およびそれぞれの状況にぴったり適合するように製造されています。すべての製品には共通して行動活性化の技法が活用されており、飼い主様の声ではなく、ワンちゃんの鳴き声を通じてコントロールされます。そのため、常に一貫した結果が得られ、ワンちゃんの学習速度がずっと速くなります。ワンちゃんがほえると、システムにより自動的に不快な刺激が与えられません。完全に安全かつ人道的な方法で、ワンちゃんがほえ続けるのをやめさせることができます。

バークコントロール装置は首輪に取り付けることができますが、必要に応じて、屋内装置や屋外装置に取り付けることもできます。隣人のワンちゃんに悩まされている場合は、屋外装置を使用すると特に役立ちます。鳥の巣箱に似せて作られていて、庭に目立たないようにぶら下げることができます。自分のワンちゃんや隣人のワンちゃんが装置から15メートル以内の場所でほえると、犬にとっては不快で人間には聞こえない高音が発生します。

無駄ぼえ防止首輪には4つの異なるタイプがあります。ワンちゃんがほえるのを感知して不快な刺激を与えるという仕組みはすべての首輪で同じですが、刺激の種類は異なります。

- **スプレー刺激**は、ワンちゃんの首に無香料またはかんきつの香りのミストをスプレーします。
- **低周波パルス刺激**は、静電気のパルスを使用します。これが最も一般的かつ実証済みの方法です。
- **超音波による刺激**は、無害かつ不快な高周波ノイズを発生させます。
- **振動による刺激**は、ワンちゃんの首の下部に低周波振動を与えます。

これらの刺激がワンちゃんにどのような影響を及ぼすか心配する必要はありません。バークコントロールシステムでは、弱くても効果が出やすい刺激を使用しているため、ワンちゃんをびっくりさせますが痛みを与えることはありません。大半のシステムでは、ワンちゃんがほえ続けると刺激の強度を自動的に高めます。つまり、非常に弱い刺激からスタートし、強度が高まるのは必要な場合のみです。

バークコントロールシステムは徐々に導入すること、および各製品の説明書をよく読んで指示に従うことが重要です。また、よく調べて、どのタイプのバークコントロール製品がご自分のペットに最も適しているか時間をかけて見極めることも不可欠です。

最終的に、バークコントロールシステムによってワンちゃんの無駄ぼえが減り、飼い主様と隣人の間のストレスが低減されます。バークコントロールシステムは、安全な方法を通じてワンちゃんと人間が穏やかに共存できるようにし、不必要な騒音によるもめ事を回避します。バークコントロールシステムは価値のあるソーシャルツールです。